

子ども向け医学教室／聴覚障害者の接客カフェ／結婚式で映像上映：

地域貢献ビジネス 起業アイデア競う

社会的起業をめざす人たちが考えたビジネスプランの発表会が12日、三鷹産業プラザ（三鷹市下連雀3丁目）であった。内閣府の「地域社会雇用創造事業」に選ばれて交付金を得た「みたか社会的企業人財創出コンソーシアム」が主催したもので、子ども向けに医学教室を開くアイデアなど18件に、総額約3200万円の起業支援が決まった。

（山本奈朱香）

三鷹でコンペ 18件に3200万円支援

「地域社会雇用創造事業」が視覚パネルを使って接客する「サイレント・カフェ」は、少子高齢化や地域衰退の課題について、解決をはかりながら事業を行う「社会的企業」の起業支援などをするもの。

コンペには全国から109件の応募があり、12日は書類審査やヒアリング審査を経た18人の発表があった。発表者は、元都職員や主婦、漫画家など。聴覚障害者

が視覚パネルを使って接客する「サイレント・カフェ」や、結婚披露宴で上映する映像を漫画家が作る「まんがd eムービー」などのアイデアが披露された。

大賞は、子ども向け医学教室を提案した武蔵野市在住で医師の沢田めぐみさん(47)。沢田さんは長男の出産後、臨床の現場を離れたが、「子どもたちが体験的に医療を学ぶ

武蔵野在住の大賞 沢田さん 「患者と医師つなぐ」

場を作りたい」と医学教室を開こうと考えたという。

沢田さんは「臨床の現場に戻ること大切だとは思ったが、教室を開くことで、患者と医師をつなぐ役割を果たしたい」と話した。



審査員や見学者を前に、起業のアイデアが披露された＝三鷹市下連雀3丁目